11月　イエスのカリタス修道女会：志願院ニュース

11月死者の月を迎え、志願生はカリタスの園の近くに位置するイエスのカリタス修道女会の墓地に毎日お祈りに通っています。11月２日には、戦時中カリタスの園の乳幼児・児童・お年寄りの方たちの食料を確保するために最初の支部として設けられた田野で静修をしました。そこで創立当初の会員や志願者たちが英雄的犠牲を払ったことを肌で感じ取った志願生たちの祈る姿には感謝と敬意が感じられます。先人たちの信仰の証を私たちも後世に伝えていけるよう、神様から頂いている時間を隣人のために大切に使っていきたいと思います。

また、11月22日～24日の連休には、カリタスサマースクールafterを行う予定です。この時期は夏よりも少なめの定員予定でしたが、神様の招きと、教会・支部共同体の皆様の積極的呼びかけにより、沢山の参加者に恵まれました。彼女達が、教会共同体の中で、主と親しく交わり、喜びのうちに信仰の道を歩んでいけるような集いとなりますように。どうぞ、志願生も含めた私達スタッフのためにも、お祈りを宜しくお願いいたします。

寒くなります。どうぞ、健康に留意され、お元気でお過ごし下さい。

感謝と喜びのうちに　院長：シスター前田智恵美

田野

院長講話

当時の志願者が水汲みに来ていた井戸(上)と洗濯していた川(右)

① みんな真剣に説明を聞く

②中心の穴開け

③水を入れる

④オリジナルの湯のみを形作る。集中！！

⑤世界に一つだけの作品完成！